



荒高PTA・後援会だより

いなりだい

Vol.
90

令和 5 年 2 月 28 日 発行

発行：山形県立荒砥高等学校 PTA・後援会
編集：山形県立荒砥高等学校 PTA 文化部
連絡先：〒992-0831
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲367
TEL (0238) 85-2171 FAX (0238) 85-2823
URL <http://www.arato-h.ed.jp/>



吹奏楽部 第19回定期演奏会



3年探究課題について
学校運営協議会の方々よりご助言



エリート思辞さんとのコラボパン販売
白鷹町産業フェア



紅花摘みボランティア 地域貢献活動

山形CM大賞
手作り部門賞受賞
荒高生が出演



しらなかつた
こんなゆたかさ

一年を振り返って



PTA会長
遠藤 茂男

皆様、新年あけましておめでとうございます。日頃から皆様方には、荒砥高校PTA活動にご支援ご理解を賜り、誠にありがとうございます。さて、昨年一年を振り返って、PTA会長として、どれだけ荒砥高校の良いところを見つけて、皆様方に解って頂けるかに尽力してきました。去年まで二年間コロナ禍の中PTA活動も、自粛会議は書面での開催でした。しかし、今年

度からは、感染対策を講じながら少しずつではありますが、コロナ禍以前に近い学校行事、PTA活動を開催することができました。先生方、生徒一人ひとりの努力に、改めて御礼申し上げます。私どもは昨年学校行事、会議等できる限り出席させて頂き、私なりに荒砥高校の良さを見いだす事が出来ました。まずは、生徒一人ひとりが学校行事、部活動、授業のどれにも積極的に真剣に探究心を持って取り組んでいて、その個々の探究していることを生徒全員で共通認識していることです。この事は荒砥高校の誇りとしてもいいでしょう。また、昨年は荒砥高校に希望に繋がる出来事がありました。九月の荒砥高校学校説明会に四十名に近い中学生の参加者があったことです。白鷹町では、荒砥高校存続における財政、行政支援の一環として、荒砥高校魅力化に係る地域連携協議会が三年程前に発足したばかりですがようやく取り組みの芽吹きが起ころはじめた様に思えます。今年度も残り僅かとなりますが、荒砥高校の未来永劫の発展のため、今後とも変わらぬお力添えを頂きます様よろしくお願いいたします。

令和 5 年 2 月 28 日 発行

いなりだい

第90号(6)

令和4年度 3年生進路先一覧 (男、女)

★就職者 11名 (男4名 女7名)

白鷹町 2名 (男1名 女1名)

- ・株式会社 ナカヤマ製作所
- ・株式会社 最上川環境技術研究所

長井市 4名 (男1名 女3名)

- ・朝日金属工業 株式会社
- ・株式会社 うめや
- ・株式会社 四釜製作所

県外 2名 (男1名 女1名)

- ・株式会社 銀座 仙台事業部
- ・株式会社 カクヤス

県内 3名 (男1名 女2名)

- ・第一貨物株式会社
- ・SWS東日本株式会社 山形工場
- ・株式会社 テイクオフ

★進学者 10名 (男2名 女8名)

大学 1名 (男1名 女0名)

- ・私立 医療創生大 心理学部

看護・医療系専門学校 2名 (男0名 女2名)

- ・三友看護専門学校
- ・国際ティビシ小山看護専門学校

短期大学 3名 (男0名 女3名)

- ・私立 東北文科大学短期大学部 子ども学科
- ・福島学院大学短期大学部 保育学科
- ・仙台青葉短期大学 言語聴覚学科

専門学校 3名 (男0名 女3名)

- ・山形調理師専門学校 調理高度技術科
- ・仙台医療福祉専門学校
- ・日本アニメ・マンガ専門学校

産技短 1名 (男1名 女0名)

- ・山形県立産業技術短期大学校 情報ビジネス科



先の見えない社会に向けて

三年次主任 早川 由美

二〇二三年三月三十一日に二十一名は卒業を迎えます。全員が卒業後の進路を定めて年越しができたことを嬉しく思います。この進路達成に向けては、妥協せず、自分の道を自分で決断して主体的に選択していった結果ではないでしょうか。そこには地域・学校・家庭等の周囲の助言を受け入れられる素直な心を持ち得ていた生徒たちであったからです。今年度は各年次クラスとなる完成年度でした。その生徒会活動においては様々な変革が求められる状況であり、過去のやり方に固執してはいけないうまくいかず、少人数の中で何ができるのかと模索し、コロナ禍の中で新しい方法に柔軟に対応していかねばならなかった。生徒はときには対立や衝突を生み出しながらも、それらを乗り越えて、生徒会を牽引してきました。このような経験により、VUCAといわれる、先が見えないこれからの時代を生きるために必要な「自律する力」を培ってこれたのではないのでしょうか。この模索は継続中で、後輩たちに引き継がれていくはずですが、「伸びしろの大きな荒砥高校生」、この伝統とともに。

今年度のPTA活動を振り返って

のほど、宜しくお願いいたします。

(PTA文化部 編集委員会)

- 部長 迎田 一昭
- 副部長 小口 弘幸
- 部員 小林 政雄
- 小関由利子
- 柳谷 仁士



荒高祭特集

今年度は「個性(いろいろ) Blending our Colors」をテーマとして掲げ、荒高祭を運営して参りました。今年度はコロナウィルスの影響で公開は同居家族のみで一般公開はできませんでした。また、一年生にとっては荒高祭がどのようなものなのか想像するのは難しかったと思います。しかし、各クラスでの話し合いを進め、短い準備期間でも一生懸命仲間と協力しながら取り組む姿が見られました。少人数であることに加え、制限がある中での行事ではありましたが、一人ひとりが個性を出し合うことでクラスの団結が強まったと感じています。荒高祭当日は、執行部や行事実行委員で作成したアートを始め、生徒会企画や有志企画など沢山の協力ののおかげで無事成功することができました。改めてクラスの絆が深まったと心から感じています。荒高祭を大成功で終えることができたことに感謝しています。



荒高祭実行委員長
須貝 沙蘭

更なる魅力化に向けて



後援会長
菊地 豊宗

趣旨に賛同する個人や企業による特別会員・教職員による特別会員の皆様には、日頃より荒砥高校の教育活動の振興の為に物心両面にわたってご支援ご協力を頂いていることに厚く御礼申し上げます。

今年度に入っても収まる気配が全く見えない新型コロナウイルスに対して、学校当局は感染症対策を取りながら学校の運営に当たっています。学級減により教職員も大幅に削減され、少人数でやり繰りしながら教育活動がなされているのが実情と言えます。そのような中でも、荒砥高校の魅力化を図る為に地域連携協議会の協力を得て様々な工夫を凝らしながら必死に対応している教職員の姿を生徒達は直に肌で感じ取り「なりたい自分になる」ことを目指して自らの学習向上に励んでいる姿がオープンスクール等を通して確実に評価されてきていること



が伺えました。その陰には先生方の精進努力は勿論、保護者の方々やPTA活動の支援があったからと言えます。

少子化の影響で入学志願の生徒達が減少してきているのは荒砥高校だけでなく置賜管内のどの高校も同じです。誠に不安定な社会情勢と厳しい経済状況の中で何かと大変と存じますが、地域や町を支える後継者の育成の為に後援会としてそんな現象を深く認識し、一人でも多くの志願者を受け入れられるよう更なる魅力ある学校づくりを支援して行かなければと思います。

つきましては、生徒一人ひとりが学業や部活動に専念し、明るく楽しい学校生活が送れるよう、何卒ご理解のご協力賜りますようお願い致します。

伸びしろいっぱい輝いた生徒たち



PTA 後援会 地主 佳子

には、日頃、本校の教育に多大なるご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。有難うございます。

コロナの感染拡大も第八波に突入していますが、今年度も再開できること、工夫して実施できることを、一つでも多く実現させたいと思いますが、日々の教育活動に取り組んで参りました。

今年度は学校運営協議会を設置し、PTA代表、地域の有識者の方々に、本校の学校経営にご協力いただきまし。特に、一年次のキャリア教育の再構築を行い、地域の歴史や文化、産業を学び、将来の進路を考える学習が系統的に整理され、二年次の就業体験学習に繋がるものへと充実が図られました。この他、探究型学習でも、地域のご協力を得て、学習成果が様々な実を結びました。

荒高三大行事の一つスポーツ祭は、少人数でも楽しめるものへと生徒会を中心に内容をリニューアルし、年次を超え全校生の繋がりを生

みしました。また、十月の荒高祭でも、クラスや委員会、部活等の日ごろの活動成果の発表や楽しい企画が準備され、和気藹々と楽しむ姿がありました。この二つの行事では、保護者の皆様や町教委の方にもご参観いただくことができた大変嬉しく思っています。

また、二年次の修学旅行は、三年ぶりに奈良・京都へと、古都の歴史と文化を訪ねる旅となりました。旅先では節度を守って行動し、見聞を広め、それぞれに満喫した三泊四日となりました。

部活動でも、吹奏楽部はコンクール県大会で銀賞を受賞、第十九回定期演奏会も大成功を収めました。総合文化部団基班も全国選手権大会団体の部で三回戦まで進出する快挙を成し遂げました。

他にも、英語弁論大会、読書感想文コンクール、高校新人体育大会などで優勝や入賞を果たすなど、今年もたくさん生徒たちの活躍があり、本校生の伸びしろの大きさを改めて実感したところです。

今後、皆様から寄せられるご声援にお応えできるよう、一層教育活動の充実に取り組んで参ります。引き続きご支援をお願い申し上げます。

令和4年度 後援会特別会費ご支援団体・個人

- ご支援ありがとうございました。
- 《団体》
- 山形新報株式会社
 - 株式会社ニクニク白鷹
 - 株式会社ハヤタ製作所
 - 有限会社長谷部鉄筋
 - しらたか不ニサン株式会社
 - 東北部品株式会社 山形工場
 - 日本G.T株式会社 山形工場
 - 丸ト建設株式会社
 - 株式会社アイリスティン山形
 - 有限会社セイノヤ
 - 有限会社三和製作所
 - 株式会社鈴木木工製作所
 - 株式会社川崎精工
 - 株式会社志月
 - 丸吉コンクリート工業株式会社
 - 小角薬局
 - 須貝設備工業株式会社
 - 那須建設株式会社
 - 医療法人社団 仁鷹会
 - 株式会社佐藤燃料店
 - 社会福祉法人 長井弘徳会
 - 社会福祉法人 長井福祉会
 - 山形精密造形株式会社
 - 山形日信電子株式会社
 - 株式会社喜助
 - 株式会社丸秀
 - 株式会社丸秀 長井工場
 - 株式会社丸秀 長井工場
 - 社会福祉法人 白鷹福祉会
 - 医療法人社団 聴明会
 - 朝日金属工業株式会社
 - 株式会社デンソー山形
 - 山形青果センター株式会社
 - 株式会社最上川環境技術研究所
 - 株式会社小嶋自動車整備工場
 - 有限会社小嶋自動車整備工場
 - 株式会社協和ハウス
 - 寒河江物流株式会社
 - 株式会社サンユー技研
 - 株式会社佐々木組
- 《個人》
- 菊地 豊宗
 - 土方 俊男
 - 関 千鶴子
 - 五十嵐 政司
 - 青木 彰榮
 - 沼澤 今朝夫
 - 荒砥高校教職員一同
- 《順不同・敬称略》

ワラスマッチ

各種目順位

各種目	優 勝	準 優 勝	第 三 位
愛のラケット便	二年一組	二年二組	一年一組
ドッジボール & ドッジビー	三年一組	二年一組	一年一組
クイズ	三年一組	二年一組	一年一組

総合順位

優 勝	準 優 勝	第 三 位
三年一組	二年一組	一年一組

入賞おめでとう!

「挑戦」

前生徒会長 遠藤 蓮華

今年度は一年次がクラスとなり、委員会の数が減少した初めての年で、不安でいっぱいでした。生徒会スローガンの「不可能を超える」では、どんなに厳しい状況でも乗り越えて行く、不可能だと思わず色々なことに挑戦してみようという意図が込められています。

「全校生が楽しめて、私達も楽しむ」これが一番の想いでした。今年度リニューアルしたスポーツ祭を含め、三大行事を全校生で盛り上げる事ができました。今年度は今までの伝統に重ねて新たな歴史を刻んだ一年だと思えます。来年度も生徒数が少ないと思いますが、全校生が楽しめる企画を作っていってほしいと思います。一年間ありがとうございました。

可能性を信じて

新生徒会長 佐藤 優太

今年度は一年次から各学年一クラスとなり、本格的に小規模校としての活動がスタートしました。思うように物事が進まず「小規模校だから」と人数のせいにしたくなる時もありましたが、その中でも行事を大成功させ、荒砥高校を盛り上げようと頑張っている先輩方の姿勢に胸を打たれました。その頑張りを受け継ぎたいと強く思っています。

活動の中で高い壁に阻まれることもあると思いますが、それでも荒砥高生全員で乗り越えて最高の学校を創っていきたいと思っています。一年間よろしくお祈り致します。

生徒会役員紹介

令和四・五年度

会 長	佐藤 優太
副会長	松野 きらら
事務局長	福士 凜佳
議長	齋藤 あみ
生活・保健委員長	青木 遥奈
図書委員長	小関 理那
事務局長(企画)	打田 蓮
事務局長(広報)	小口 隼輔
事務局員	青木 嘉希
事務局員	沖田 優翔
事務局員	梅津 英治



修学旅行

修学旅行HAPPY☆

二年一組 松野きらら

初日の朝はドキドキとワクワクで早く目が覚めました。初めての飛行機は少し怖かったですが、景色が最高でした。

京都・奈良方面なので、歴史的建造物や世界遺産がたくさん訪問しました。どれもとても素晴らしく感動しました。バスに乗っているときにバスガイドさんが楽しく京都や奈良を説明してくださり、楽しみも倍増しました。特に関西弁を教えてもらったときはイントネーションの違いにびっくりしました。

建造物だけでなくテーマパークにもたくさん訪れました。映画村や水族館では友達と楽しく回ることができました。最終日の嵐山散策では、SNS映えるスイーツを食べたり、竹林を訪れたりして、締めくくりにふさわしい一日にすることができました。

準備期間も含め、二十一人の仲間と修学旅行に行けたことは最高の思い出になりました。修学旅行で得た学びをこれからの生活に活かしていきたいです。